

いまを生きる ～過去を生かし、未来を計画し、「いま」に集中して生きる～

夕張中学校長

夏季休業が終わり、あっという間に季節は秋を迎えました。

夏季休業明けの集会で、「いまを生きる」をテーマに以下のような話をしました。

長期休業明けは、休養十分でやる気に満ちている反面、後悔や不安に陥りやすい時です。また、次の長期休業までの長い期間があり、集中力を欠きやすい時期でもあるのです。それを乗り越え、充実した学校生活を送ってほしいとの願いを込めて話をしました。 (以下要旨)

「いまを生きる」とは、「いま」やっていることに集中する！「いま」取り組んでいることに没頭する！ということです。

夏休み前や最中のこと、特によくなかったことを思い出している人はいませんか。これから冬休みまで長いなあと思っている人はいませんか。「いまここ」に集中してください。

多くの人は（私も）、過去にあったことに縛られたり、未来に対する不安や恐れがあるので、それが強ければ強いほど、「いま」に集中することができないのです。そして「いま」を楽しむことができないのです。

「いま」ここで自分ができることは何だろう、「いま」学べることはなんだろう？

そこに集中して全力で取り組んでいけば、毎日が充実するはずですよ。毎日を楽しめるようになるはずですよ。それが「いまを生きる」ということです。

「いまを生きる」ために、集中しろ、没頭しろといっても、過去や未来のことを考えるなどということではありません。

過去は今のためにあります。過去に起こった良いことや良くなかったことを振り返り、直すべきところは直して、「いま」に生かせばよいのです。過去のことを悔やみ、縛られることはないのです。

そして、未来は「いま」から始まっています。未来に対する不安や恐れは、「そうだったらいいな」という未来を思い描き、計画を立てることで解消していきます。未来に向けて計画を立て、「いま」何をすべきかに集中して行動すればよいのです。

今日から一日一日、この瞬間、瞬間の「いま」を精一杯、全力で生きてください。

過去を生かし、未来に向かって計画し、「いま」に集中して生きてください。

「いま」の積み重ねが、よりよい未来につながっています。

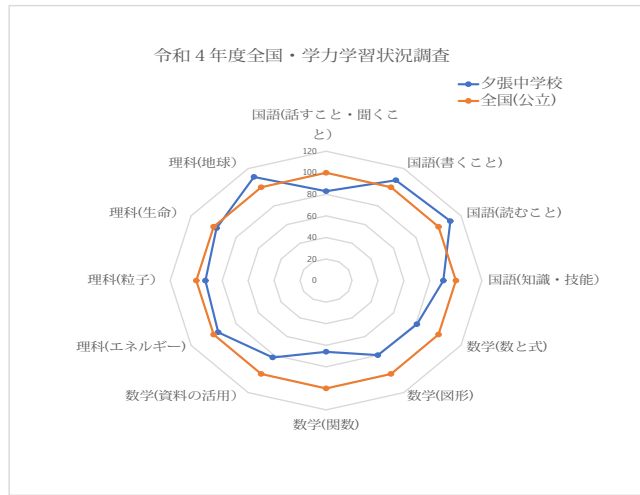
人生は「いま」の連続なのです。

「いまを生きる」皆さんに期待します。



令和4年度全国学力・学習状況調査の結果

4月19日(火)実施した今年度の全国学力・学習状況調査の本校(3学年対象)の結果等の概要をお伝えします。この調査は、生徒の学力や学習習慣等の状況を把握・分析し、各学校に応じて指導方法の工夫改善等に役立て、子どもの学びに向かう力の育成や学力の向上を目的に実施しています。



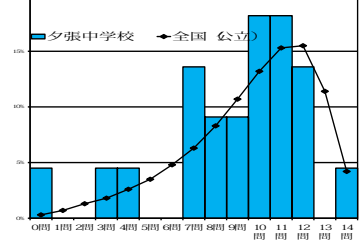
〈結果・状況〉

今年度は国語・数学・理科と学習状況等の質問紙調査が3年生を対象に行われました。結果は、各教科の平均正答率は国語・数学が全道・全国平均を下回り、理科は全国・全道平均と同程度でした。左のグラフは、全国の値を100とし本校の割合がどのくらいかを表したものです。これによると、国語「書くこと」「読むこと」、理科「地球」は全国平均値を上回っていますが、他の領域は全国の内側にあり、これは全国値よりも低いことを表しています。特に、国語「話すこと・聞くこと」、数学「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」は大きく下回っている状況です。

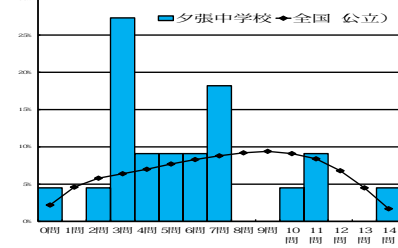
〈生徒質問紙の回答状況〉 (主なものを抜粋) ※ () は全国平均値

- 平日に家庭学習を1時間以上する **36.3%** (68.8)
- 平日に1人3時間以上する **45.4%** (29.8)
- 1日30分以上読書をする **22.7%** (27.5)
- 家庭で、自分で計画を立てて勉強している **50.0%** (58.5)
- 将来の夢や目標がある **90.9%** (78.5)
- 将来の目標を決めている **77.3%** (67.3)
- 目の前のことをやり遂げるようにしている **90.9%** (86.6)
- 人の役に立つ人間になりたい **95.4%** (94.2)

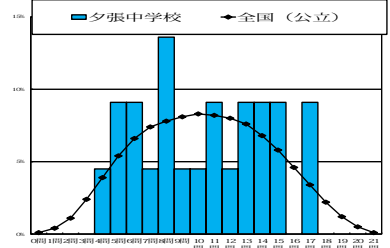
<国語>



<数学>



<理科>



〈今後の取組〉 3つのグラフは、学力調査(国語・数学・理科)の本校生徒の正答数の分布です。3年生の「全国学力・学習状況調査」や全学年で行う「標準学力検査」の結果から、本校生徒の確かな学力の『定着』と『向上』のため、以下のことに取り組んでいます。

- <国語> 自分の考えを分かりやすく表現する、論理の展開に注意して聞き取る、助動詞の働きや使い方の内容の正答率が低い状況でした。基礎内容の定着を図り、応用や文章問題にも取り組んでいきます。
- <数学> 関数に関わる問題の正答率が大きく低く、他の分野(数と式・図形・データの活用)も低くなっています。このことから、基礎・基本の確かな定着と記述式解答の問題に、全学年の習熟度別少人数指導や「夕張検定」に取り組ませながら、徹底していきます。
- <理科> 「地球」に関わる分野がやや高く、他の「エネルギー」「粒子」「生命」は、全国平均と同じか、やや低い程度でした。日常の自然科学事象と結びつけながら、活用へ向けて取り組んでいきます。

1 授業での取組 「主体的な学びを促す」

本時の授業『課題』を明確に示し、自分の考えのまとめや班やグループで交流(対話)しながら学びを深める。そして適切なまとめで授業の『振り返り』を行い、授業内容を定着させる。

2 家庭学習の定着に向けて

- 教科ごとに行っている家庭学習の指導内容や、効果があったこと、効果が薄かったことなど、各教科の取組を把握し、時間の使い方を考えさせ、家庭学習の定着に結びつけていく。
- 学校運営協議会が行っている「家庭学習強調週間(ファミスタ)」の取組を支援する。
- オンライン配信等を活用し、家庭学習で復習を繰り返し、基礎的な力を定着させる。

9月行事予定

3日(土)	学校祭 ※急な変更は連絡します	16日(金)	生徒会役員選挙
5日(月)	振替休業	20日(火)	前期期末テスト~21日(水)
8日(木)	市教研(午前下校) 夕張検定	26日(月)	夕張検定
9日(金)	芸術鑑賞(東京混声合唱団ワークショップ)	27日(火)	スクールカウンセラー出勤 12:30-16:30 夕張検定 夕張高校オープンスクール
12日(月)	評議会・常任委員会 夕張検定	29日(木)	開校記念日
14日(水)	3学年 学力テスト		

